

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	+laughイナギ		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる居場所としての環境 利用者アンケートでは、落ち着いて過ごせる、安心して通えているといった意見が見られた。また、通所を楽しみにしている様子も見られた。	ご利用様が安心して過ごせるよう、環境面や体調面への配慮を行っている。また、日々の関わりの中でご利用様の様子や表情を丁寧に受け止めながら関係を築くことを大切にしている。	今後も利用者一人ひとりの状態や願いを大切にしながら、安心して過ごせる居場所としての環境づくりを継続していく。
2	日々の活動を通じた関係性づくり 活動や日々の様子について、楽しんで通っている様子や興味を示している様子が見られた。また、スタッフとの関係性について前向きな意見が見られた。	利用者の興味関心を大切にしながら活動を行い、日々の関わりを通して関係を築くことを大切にしている。	今後も利用者の興味関心を大切にした活動を行いながら、安心して通える関係性づくりを深めていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有のさらなる充実 利用者アンケートでは、送迎時の連絡や情報共有について改善の余地を感じるという意見が見られた。	職員の勤務時間帯や担当の違いにより、情報共有の方法が十分に整理されていない場面がある。	職員間での情報共有方法を整理し、利用者の状況や連絡事項が確実に共有される体制づくりを進めていく。
2	環境面の継続的な見直し 利用者アンケートでは、スペースの使い方についての意見が一部見られた。	限られたスペースの中で活動や送迎を行っているため、時間帯によってはスペースや動線が混み合う場面が生じることがある。また、設備や物品の配置についても安全面の観点から継続的な見直しが必要である。	活動スペースや動線の整理、物品配置の見直しなどを行い、安全に過ごせる環境づくりを進めていく。また、災害時の対応や避難方法についても職員間で確認し、安心して利用できる環境整備に努めていく。
3			